

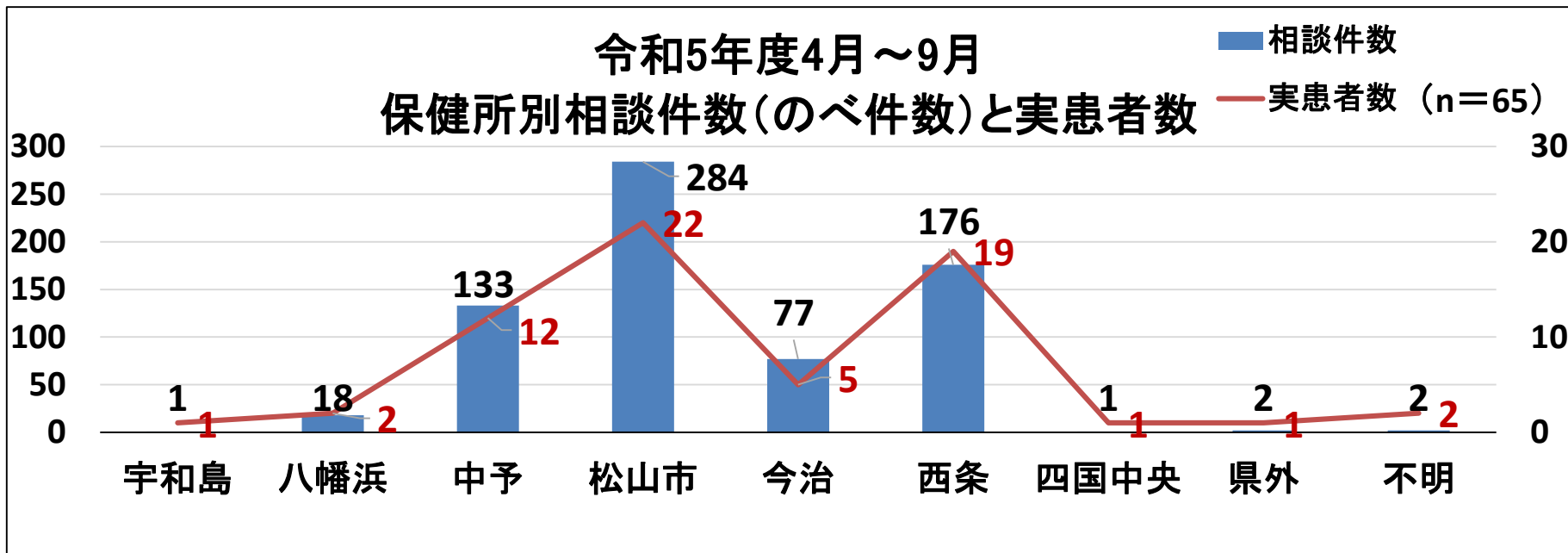


愛媛県難病医療コーディネーターの活動報告

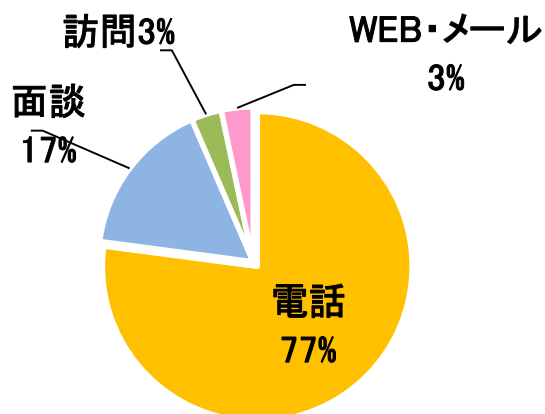


愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター
愛媛県難病医療コーディネーター
西岡 理可 菊池恵子

①難病医療に関する相談内容等



相談手段

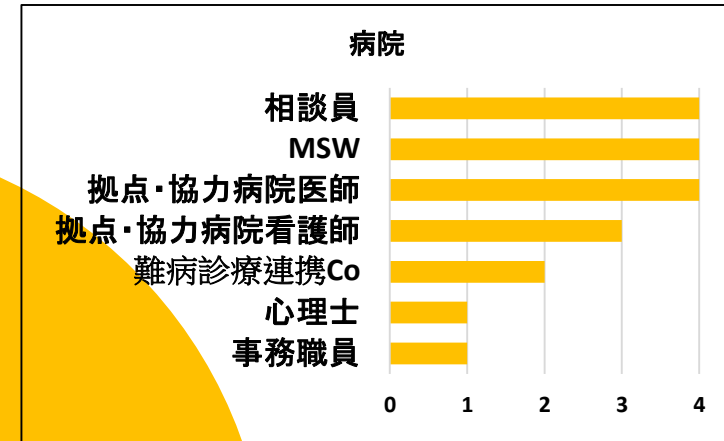
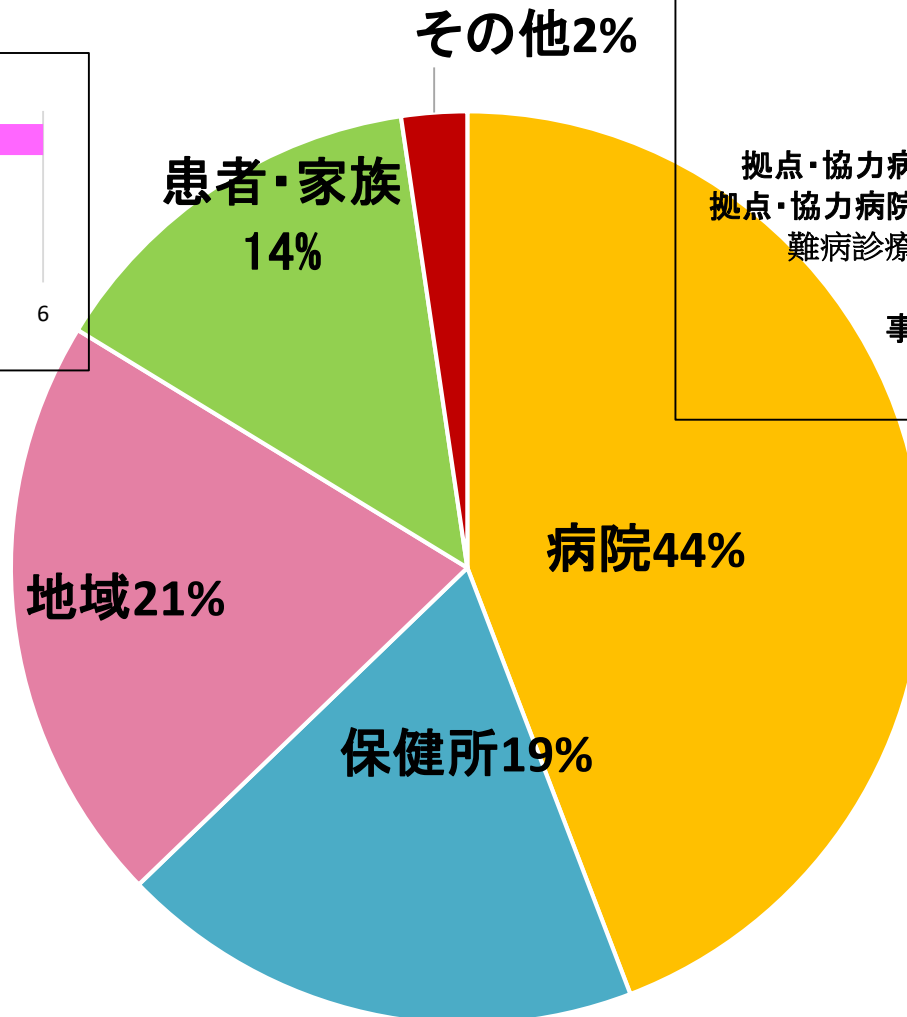
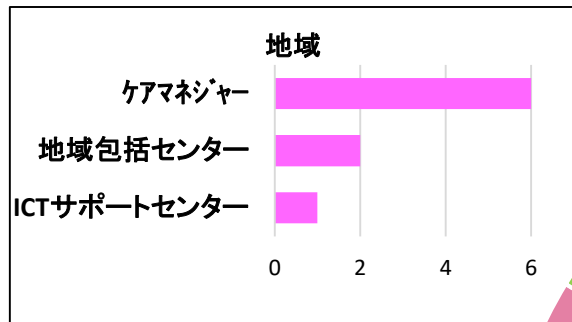


- ・今年度は西条保健所保健師との連携を密にとっていたため相談件数が増えている
- ・訪問は、自宅訪問が14件、病院での拡大カンファレンスが3件、地域でのケア会議などが2件、外来診察同行が1件であった

①難病医療に関する相談内容等



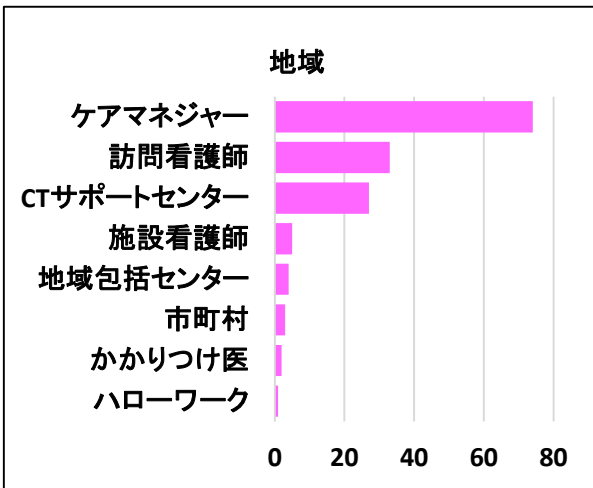
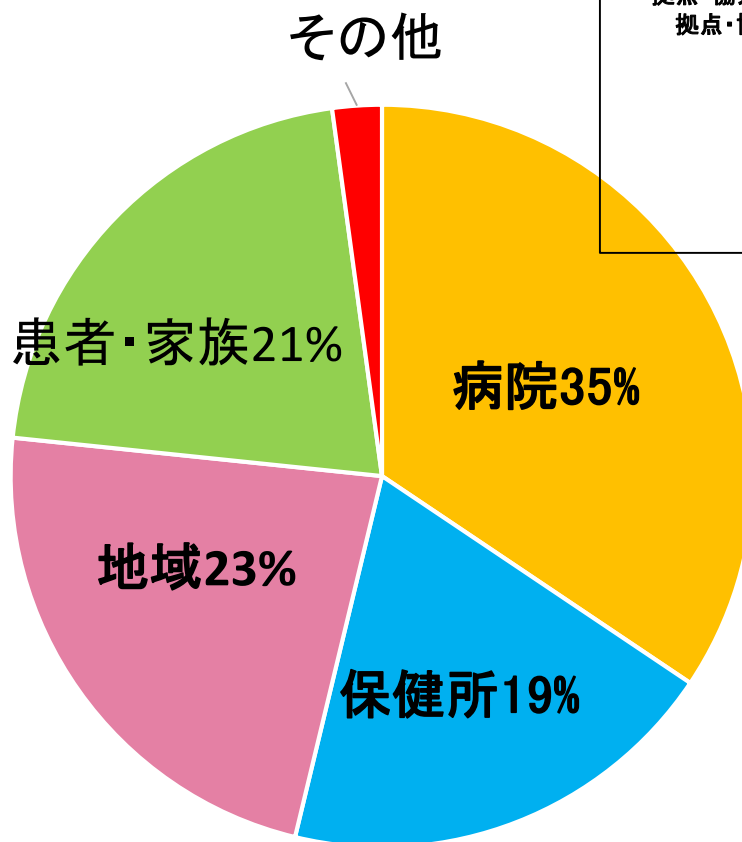
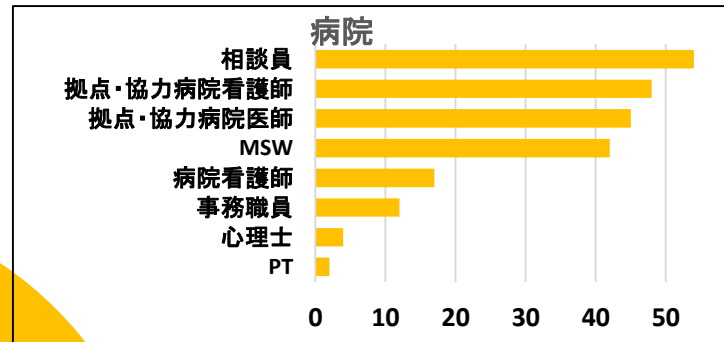
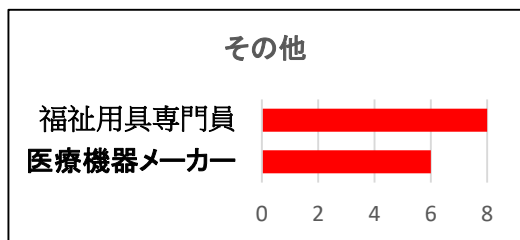
R5年4月～9月 新規 相談職種



①難病医療に関する相談内容等



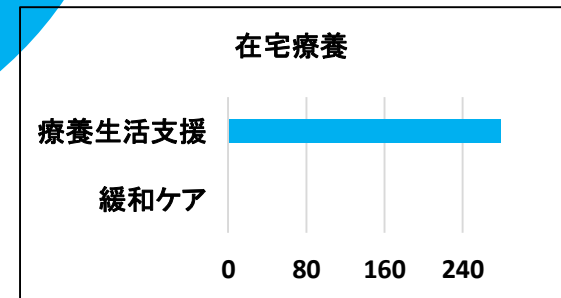
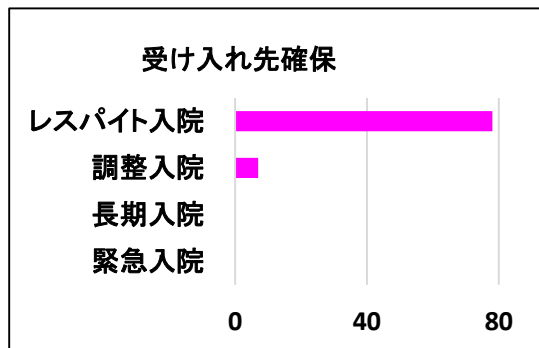
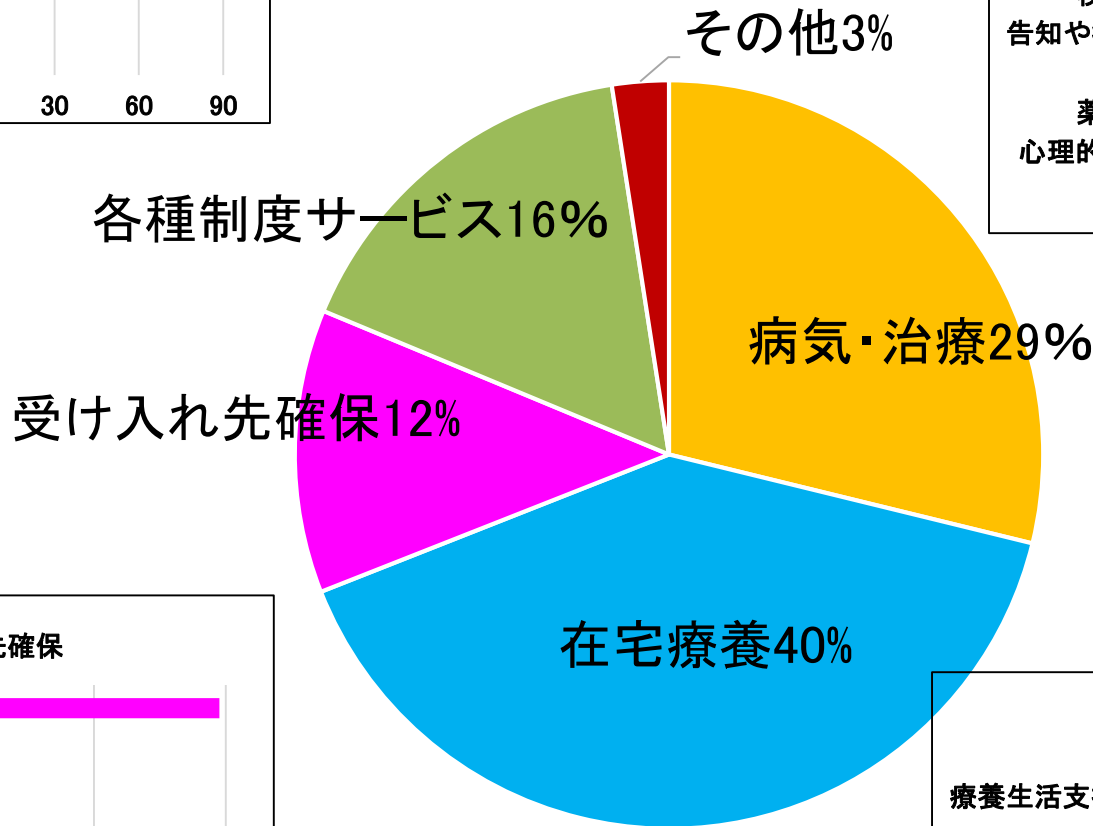
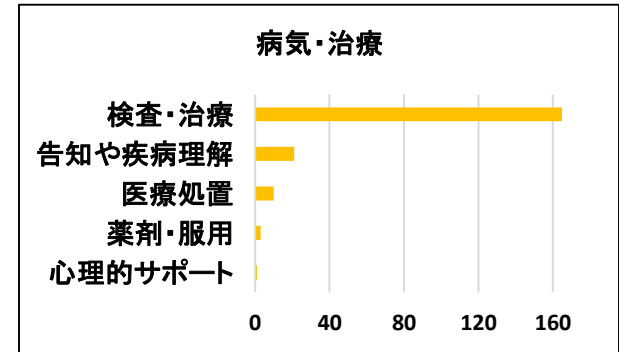
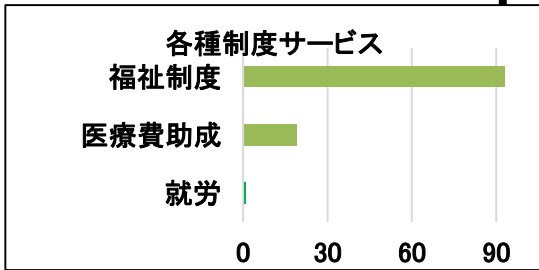
令和5年4月～9月 継続 相談職種



①難病医療に関する相談内容等



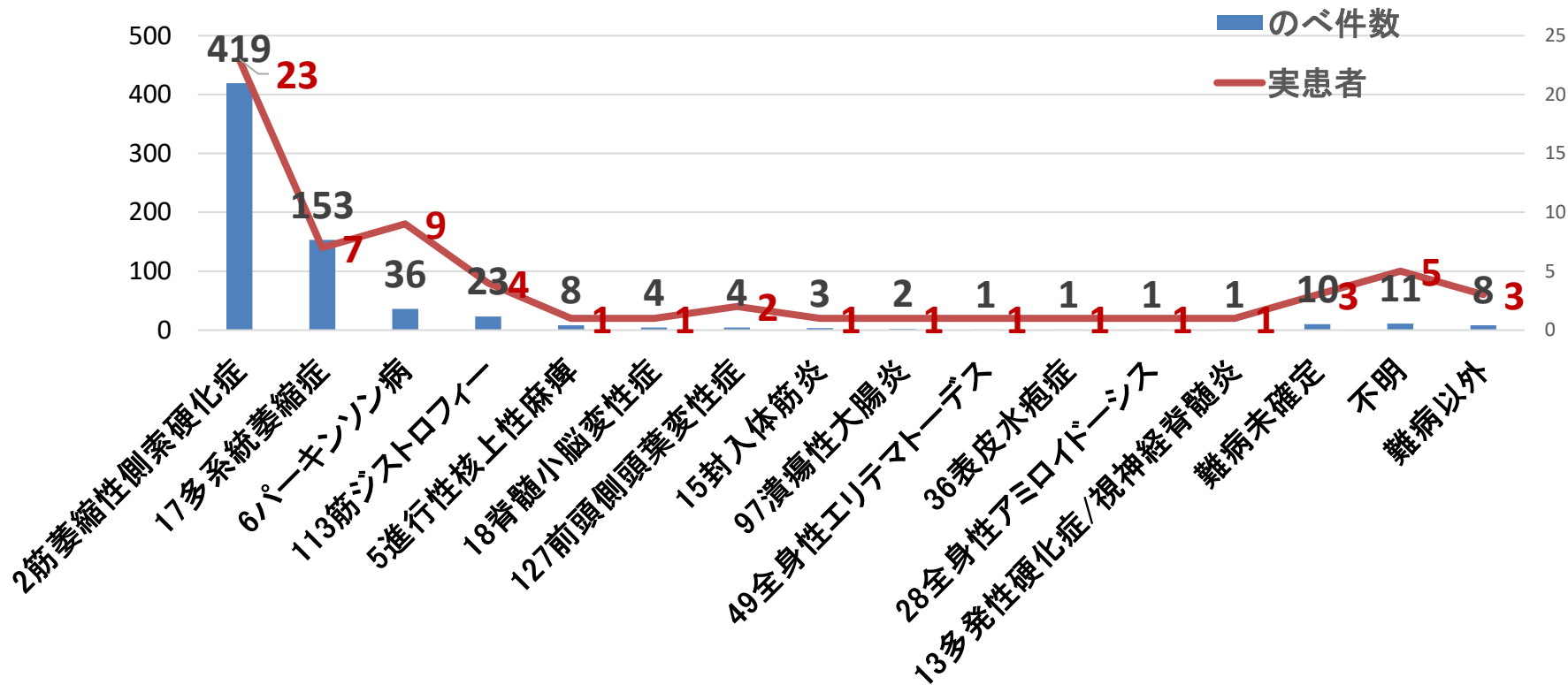
令和5年4月～9月 相談内容



①難病医療に関する相談内容等



疾患別相談のべ件数と実患者数 (n=685)



②難病医療に関する情報収集・提供



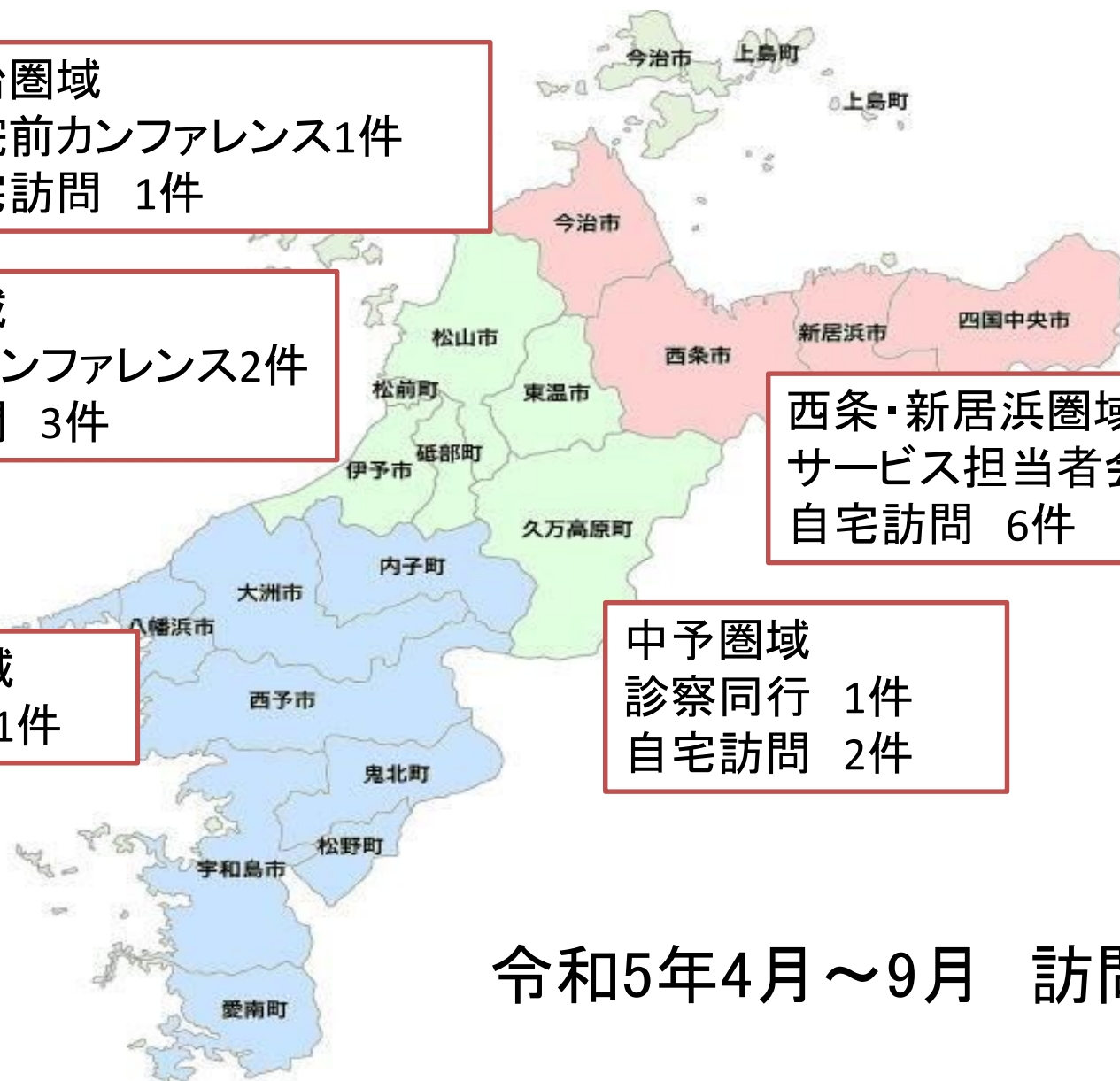
今治圏域
退院前カンファレンス1件
自宅訪問 1件

松山圏域
退院前カンファレンス2件
自宅訪問 3件

西条・新居浜圏域
サービス担当者会 1件
自宅訪問 6件

八幡浜圏域
ケア会議 1件

中予圏域
診察同行 1件
自宅訪問 2件



令和5年4月～9月 訪問先

地域医療連携の仕組みづくり



人工呼吸器又は在宅酸素を導入する方のクリニカルパスについて

～R5.2.8 協議会 議事より～

【ALS患者で1件導入あり、導入先病棟の意見】

- ・受け手側の意見も取り入れた方がよい
- ・必要事項は看護サマリーに記載するので、現状のままでもよい



引き続き事務局内で内容を検討、来年度以降の病院訪問で
拠点・協力病院と意見交換を行う

コーディネーターの課題と取り組み



難病コーディネーターの
周知不足



- ・関係機関訪問
- ・顔の見える関係づくり
- ・処遇困難事例や二次医療圏域を越えた支援を通して相互の役割理解

難病コーディネーターが、
事例の積み重ねができていない



- ・難病医療コーディネーターの具体的な業務内容や方法の模索
- ・保健所との連携と事例の共有、患者訪問や課題の共有に取り組む
- ・地域のニーズを知る
- ・他専門職種との役割範囲との境界を見極めて行動する

医療体制の課題と取り組み



基幹病院から地域に戻る際の連携



- ・患者が安心して在宅療養生活を送るため、切れ目のない支援を支えるネットワークシステムの構築

医療連携を進めるうえで必要な体制整備について検討が必要



- ・地域の難病医療・福祉資源の状況を病院訪問などを通じて把握する
- ・協議会での意見交換や研修会などでの事例の共有